



◆◆◆ 国際通貨研究所メールマガジン（第 59 号 2017/2/1 発行）

◆◆ <<http://www.iima.or.jp/>>



＼1. 理事長 渡辺博史 コラム／

壮大な皮肉 — ブラッセル官僚が統治する時代に？

<<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2017/20170201watanabe.pdf>>

難民というよりは、域内移民の数のすごさに脅かされて、移民流入、そしてその原因である「労働者の自由な移動」を定める EU 協定への反発から、EU 加盟各国で「右派」（欧…

＼2. 客員研究員 福田幸正 コラム／

押し寄せる援助に悶えるミャンマー

<<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2017/20170201fukuda.pdf>>

2016 年 12 月 12 日、ミャンマーの首都ネピドーで、ミャンマー政府側援助調整機関(DACU: Development Assistance Coordination Unit)と援助国側との初の会合が開催された…

■ホームページ 「IIMA の目」

短編コラム「IIMA の目」を、ホームページ最上部にて毎週初更新掲載しています。是非ご覧ください。

<<http://www.iima.or.jp/research/column/index.html>>

1. 「狙われた街～治安の悪化により低下するトルコ国民の信頼感～」中村明
2. 「中国の「為替操作国認定」を巡る 2 つのねじれ」武田紀久子
3. 「曲がり角のトランプ・ラリー：ドル高維持に必要な「3 つの辛抱」」武田紀久子
4. 「ポピュリズム政策の帰結。アルゼンチンの例」森川央

■ IIMA Global Market Volatility Index・購買力平価グラフの更新 ■

<http://www.iima.or.jp/research/ppp/index.html>

≪掲載内容≫

- IIMA Global Market Volatility Index
(グローバルな金融・資本市場のリスク度を表す指数)
- 購買力平価グラフ
(ドル円) (ユーロドル) (ユーロ円)

■ 今月の新着レポート ■

1. 「パキスタン経済の現状と課題 ～CPECで成長加速も、投資一巡する2021年以降が課題～」 森川央
http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2017/NL2017No_3_j.pdf
IMFとの協働でパキスタン経済は改革を推進、また中国との経済回廊建設がブームを呼び、当分経済は好調を維持する模様だ。しかし、投資一巡後には不安も垣間見える。
2. 「ポルトガル経済の現状と展望 ～金融セクター、政治動向、依然高い官民の負債がリスク～」 山口綾子
http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2017/NL2017No_2_j.pdf
ポルトガル経済は、銀行システムの脆弱性、官民の債務残高の大きさ、低成長という相互に関連しあう問題を抱えている。同国経済の中期的なサステナビリティはこれらにいかに対処するかにかかっている。政府は財政再建を進めるとともに、労働市場の構造改革などにより潜在成長率を高めることをめざしている。
3. 「香港銀行セクターの対中與信動向」 秋山 文子
http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2017/NL2017No_1_j.pdf
香港の銀行の業況は中国本土の景気の影響を直接ないし間接的に受ける。目下、貸出に占める不良債権の比率は低水準ながら上昇している。環境変化を乗り越えるため、銀行には強固な信用リスク管理体制の確立が求められる。
4. 「2016年7-12月 IIMA-GMVIの振り返り」
<http://www.iima.or.jp/Docs/ppp/index/furikaeri20170111.pdf>
5. 「独自の歩みを続けるトルコ ～欧米との距離の拡大に懸念～」 中村明
http://www.iima.or.jp/Docs/topics/2017/294_j.pdf
トルコに悪影響を及ぼしている爆弾テロによる治安の不安や、欧米との関係悪化などが近い将来目にみえて改善に転じる姿は想定しにくいいため、トルコの先行きには引き続き慎重な判断が必要と考える。

今年は、金融市場を見る限り、平穏な幕開けだったと言っていいでしょう。昨年は中国経済の問題を横目に年明け早々市場は大荒れでしたが、今年の為替相場や株価などは今のところ大きな混乱なく、むしろ米国のダウ・ジョーンズが 20000 の大台を載せるなど前向きなニュースが目立ちます。一方で、世界の政治経済情勢は不透明感が強く漂っています。筆頭は米国トランプ大統領でしょう。大統領就任後ますます奇人さを際立たせ、TPP から離脱の上、アジア諸国とは二国間の通商交渉を積極的に進める構えを見せています。独仏の大きな政治イベントも続きます。1月のスイス・ダボス会議では、中国習主席が自国経済の安定をアピールし、自由貿易擁護の姿勢を示しましたが、中国経済が問題山積みであり、本質的に経済自由主義の擁護者ではないことは誰もが知っています。2017 年はとって騒がしい一年になりそうです。

IIMA では今月より約 1 か月、外国の留学生インターンシップを受け入れます。また月後半には中国経済に関する外部識者との情報交流を予定しております。どんな環境下でも、IIMA 研究員は未来志向で研究を続けてまいります。

【バックナンバー】

<http://www.iima.or.jp/mailmagazine.html>

【次号】

2017 年 3 月 1 日配信予定

【メールマガジンの配信停止・配信先変更】

<https://m.entryform.jp/m/iima/>

【各種お問い合わせ】

admin@iima.or.jp

※閲覧には Adobe Reader が必要です。

Adobe Reader のダウンロードはこちらから

→<http://get.adobe.com/jp/reader/>

本メールは配信専用のアドレスからお送りしております。

返信をいただいても当方では受け取ることができません。

◇発行◇

公益財団法人 国際通貨研究所

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2 三菱東京 UFJ 銀行日本橋別館 12 階

[HP] <http://www.iima.or.jp>

Copyright (C) IIMA All Rights Reserved.